

プログラム6

買い物ゲーム（ごみ減らし編）（エコライフ）

目的

- ・ 買い物を通して、環境に配慮した生活について考える。
- ・ 毎日の暮らしのなかで出るごみの実態について知る。
- ・ リサイクルや詰め替えの商品などを購入することの意味を学ぶ。
- ・ マイバッグを使用してみる。



概要

子どもたちにとって身近な存在である「文房具」と「おやつ」に焦点をあてて、どんな商品を選べば環境に負荷をかけず、しかもごみを減らすことができるのかを、実際の買い物という体験を通して考える。

なお、活動をさせてもらうお店には、事前に連絡してこちらの意図をきちんと話して打ち合わせすることが必要である。どこでも許可が出るというものではないと思われるが、お願いして許可のたところで行う。（プログラム提供元の「グリーンコンシューマーネットワークとやま」では、環境学習プログラムを持っているスーパーで実施した。）

対象

小学3年生ぐらいから6年生まで（人数は10人～15人程度）

実施時期

通年（お店の繁忙期を除いたほうがよい）

所要時間

2～3時間程度



準備物

<事前説明・買い物>

- ・マイバッグ
- ・商品購入用のお金（おやつを買うとき）

<説明・振り返り>

- ・いらなくなったポスターやカレンダーなど（裏面を利用）・マーカー各色（グループ数分）
- ・資料「リサイクルだけではごみは減らない」
- ・資料「エコ文具を使ってみよう」

- ・振り返りシート（参加者数分）

内容

<事前説明・買い物>

- ・ 買い物ゲームの進め方の説明とグループ分けをする。
- ・ 最初に「文房具」を買うグループと、最初に「おやつ」を買うグループの2つに分かれて買い物ゲームに出発。その際、それぞれの商品選択に課題を設けておく。

[文房具の課題例]

紙をリサイクルしてできたもの、プラスチックをリサイクルしてできたもの、詰め替えできるものをそれぞれ2つずつ選ぶ、などがある。

文房具は実際には購入せず、レジ直前で回収してもとの棚に戻す。

[おやつの課題例]

なるべくごみが出ないようなおやつ&飲み物を選んで、〇〇円分買ってくる、などがある。



- ・購入した商品はマイバッグに入れて持ち帰る（レジ袋はもらわない）。

<話し合い・振り返り>

- ・話し合いをする。グループごとに、選んだ商品と、選んだ理由を紙に書いて発表しあう。
- ・選んだおやつを食べながら、各グループの発表を聞いた感想や、ごみについて話しあう。
- ・資料「リサイクルだけではごみは減らない」、資料「エコ文具を使ってみよう」を参考に、リサイクルのほかリユースやリデュースなどの意味を考えてみる。



- ・今日の活動で気付いたことなどを各自で振り返りシートに記入する。
- ・感想や今日からやろうときめたことなどをみんなで発表しあう。

安全対策及び配慮事項

- ・ 店内には一般客もいるので、グループごとに行動するときには必ず大人が付き添う。ただし、大人はあくまでも子どもたちの安全確保を目的とし、活動内容にはあまり踏み込まないようにする。
- ・ おやつはレジでお金を支払ってから、マイバッグに入れてグループごとに話し合いの場へ持ち帰るが、文房具はレジを通さないので、誤解を招かないように大人が責任をもって預かること。事前にお店と打ち合わせをしておく。

展開や応用

- ・ このプログラムでは「文房具」と「おやつ」の2つをテーマに選んだが、所要時間に応じて、買い物の中身をいろいろ工夫することができる。また、今回のケースでも、おやつはあらかじめ主催者が用意しておいて、参加者は文房具だけを選ぶなどすれば時間が短縮できる。その場合、おやつ選び方については口頭で説明するなどの配慮が必要である。
- ・ もっと時間的に余裕があれば、「カレーの材料を選ぼう！」などのテーマを設定して、買い物をした後で実際にみんなで料理を作ってもよい。
- ・ 可能であればバックヤードの見学など、お店の環境問題に対する取り組みを見せてもらい、ごみの実態についての理解を深め、ごみ減量のための方策を話しあう。
- ・ エコマークやグリーンマーク、リサイクルマークなどの環境配慮のマークについて調べてもよい。

プログラム提供団体

団体名・担当者名 グリーンコンシューマーネットワークとやま 代表 三神百合子

住所 富山市梅沢町3-5-13

電話番号 076-421-0093

電子メール mikami@pc.ctt.ne.jp

ホームページ <http://www18.ocn.jp/~greconto>

団体の概要 設立は平成12年。同年、県内のスーパーを調査し、「買い物ガイド in 富山」（富山県内版）を作成。平成13年以降は、「まるごとくらし塾」という実践的エコライフ講座を毎年6回開催するなど、グリーンコンシューマーの輪を広げています。平成14年には、行政と企業、消費者がともに連携できるように、「ごみダイエット作戦」をスタートさせ、アンケート調査や冊子づくりなど地道な活動を展開してきました。平成16年には冊子「ごみダイエット作戦ーいらんちゃ ムダな包装」を作成。同年、財団法人とやま環境

財団との協力により、地球温暖化防止活動の一環として開催したエコロジ
ーナ料理教室が好評で、現在も続いています。